

第2 30日死者統計

1 30日死者の状況

(1) 県下と全国の発生状況

○ 県下

死者	区分	11月中		11月末		
		増減	比率	増減	比率	
	24時間死者	15	±0	114	-23	1.00
	30日死者	1	-2	18	-12	0.16
	30日以内死者	16	-2	132	-35	1.16

○ 全国

死者	区分	10月中		10月末		
		増減	比率	増減	比率	
	24時間死者	313	-25	2,531	-265	1.00
	30日死者	59	-2	557	+82	0.22
	30日以内死者	372	-27	3,088	-183	1.22

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の〇〇倍と表す。

(2) 概要

11月末の県下の「30日死者」は18人（-12人）、「24時間死者」は114人（-23人）で、これらをあわせた「30日以内死者」は132人（-35人）であり、「24時間死者」の1.16倍となっている。

(3) 特徴（30日死者の構成率）

○ 地区別 神戸6人（33.3%）、西播5人（27.8%）、東播3人（16.7%）、阪神2人（11.1%）、但馬1人（5.6%）、淡路1人（5.6%）の順で発生している。

○ 状態別 歩行中9人（50.0%）、自転車乗用中7人（38.9%）、自動車乗車中1人（5.6%）、原付乗車中1人（5.6%）の順で発生している。

○ 年齢層別 65歳以上が7人（38.9%）、25～64歳が7人（38.9%）、15歳以下が3人（16.7%）、16～24歳が1人（5.6%）の順で発生している。

○ 経過日数別 10日以内の死亡が8人（44.4%）となっている。

○ 損傷部位別 頭部の損傷が14人で、77.8%となっている。